

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社fonfun

コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部部長

(氏名) 八田 修三

TEL 03-5357-0303

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	479	△16.9	19	△66.9	27	△47.7	26	△77.1
24年3月期第3四半期	576	△27.7	59	11.3	52	△6.7	115	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 26百万円 (△75.2%) 24年3月期第3四半期 107百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	10.13	—
24年3月期第3四半期	44.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	852	373	43.7
24年3月期	880	346	39.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 372百万円 24年3月期 346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	765	0.2	72	△7.7	64	△5.5	63	△67.4	24.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	2,661,720 株	24年3月期	2,661,720 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	41,588 株	24年3月期	41,058 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	2,620,415 株	24年3月期3Q	2,620,918 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P31(3)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、弱い動きとなっておりますが、一部に下げ止まりの兆しも見られます。当面は弱さが残るものの、輸出環境の改善や経済対策の効果などを背景に、再び景気回復へ向かうことが期待されておりますが、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループを取り巻く環境に関しては、業界再編、ビジネスモデルの変化など引き続き大きな変革期の只中にあります。携帯電話市場に関しては、平成24年12月末における携帯電話・PHSの契約数は134,070,600件（前年同月比6.3%増 社団法人電気通信事業者協会調べ）であり、携帯契約総数の大幅な拡大が望めない中、既存携帯端末からスマートフォン端末への移行が急速に進んでおります。その影響で携帯通信事業各社の契約数のシェアにも変化が現れており、また、携帯通信事業各社ごとにスマートフォン上でのコンテンツ提供戦略に違いもあり、コンテンツ市場の構造も変化を強いられています。

このような状況の下、当社グループは、スリム化した体制で主力事業であるリモートメール事業に経営資源を集約し、収益を維持しつつ、新たなコンテンツサービスの開発を進めてまいりました。

当社グループの各セグメント別の業績は次のとおりであります。

①リモートメール事業

「リモートメール」個人版サービスにつきましては、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手のよさをさらに向上させる改善を継続して実施しております。既存携帯端末からスマートフォンへの買い替えの際に契約が引き継がれ、既存利用者の継続利用を促す施策を強化しました。また、既存携帯端末に加えスマートフォンを対象に、携帯電話販売店舗における販促活動を進めてまいりました。

「リモートメール」法人版サービスにつきましては、引き続き営業活動を強化し顧客獲得に取り組んでおります。既存顧客からの紹介、新規顧客へのアプローチ方法の強化など販路拡大に努め、順調に契約者数を伸ばしております。

また、光通信グループの携帯電話販売店にて販売している、当社子会社・株式会社FunFusionを販売元とする「モバイル活用パック」も引き続き売り上げに寄与しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は442百万円（前年同期比16.9%減）、営業利益は114百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

②コンテンツ事業

携帯電話向けコンテンツにつきましては、利用継続率の高い便利・ツール系サービスに絞り、携帯販売店での販促活動を中心に利用者の獲得をしております。

また、iPhone及びAndroid対応コンテンツの開発を積極的に進め、自社提供及び協業モデルでの展開を図っております。

上記の結果、コンテンツ事業の売上高は32百万円(前年同期比15.9%減)、営業損失は6百万円(前年同期 営業損失3百万円)となりました。

③その他

その他の売上は、主に過去に発売した家庭用ゲーム機向けパッケージソフトのリピーター受注販売によるものであり、売上高は3百万円(前年同期比25.1%減)、営業損失は5百万円(前年同期 営業利益1百万円)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高479百万円(前年同期比16.9%減)、営業利益19百万円(前年同期比66.9%減)、経常利益27百万円(前年同期比47.7%減)、四半期純利益26百万円(前年同期比77.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は852百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円の減少となりました。その主な要因は、流動資産における現金及び預金の増加113百万円、売掛金の減少45百万円、投資その他の資産における投資有価証券の売却による減少86百万円であります。

負債の部は479百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少しております。主な要因は、短期借入金の減少55百万円、長期借入金の増加30百万円、未払金の減少29百万円等であります。

純資産は373百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年11月12日に発表を致しており、当社及び子会社の現時点での予測に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	475,767	588,851
売掛金	176,198	130,925
製品	80	21
繰延税金資産	35,841	35,841
短期貸付金	6,120	3,180
その他	14,157	15,950
貸倒引当金	△11,903	△9,317
流動資産合計	696,262	765,452
固定資産		
有形固定資産	38,944	32,828
無形固定資産		
のれん	3,323	—
ソフトウェア	6,575	7,106
ソフトウェア仮勘定	1,592	—
無形固定資産合計	11,491	7,106
投資その他の資産		
投資有価証券	86,001	—
長期貸付金	2,320	650
長期未収入金	1,373,897	1,359,875
その他	21,551	25,969
貸倒引当金	△1,349,610	△1,338,957
投資その他の資産合計	134,160	47,538
固定資産合計	184,596	87,472
資産合計	880,859	852,925
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,153	5,009
短期借入金	298,760	243,680
未払金	72,773	43,194
未払法人税等	4,444	2,590
賞与引当金	3,675	—
偶発損失引当金	9,000	9,000
その他	5,501	9,710
流動負債合計	400,306	313,185
固定負債		
長期借入金	121,300	151,580
退職給付引当金	11,576	15,136
その他	1,092	—
固定負債合計	133,968	166,716
負債合計	534,275	479,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,605	2,242,605
資本剰余金	636,561	636,561
利益剰余金	△2,359,437	△2,332,895
自己株式	△173,326	△173,429
株主資本合計	346,401	372,841
新株予約権	182	182
純資産合計	346,584	373,023
負債純資産合計	880,859	852,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	576,819	479,092
売上原価	89,410	81,799
売上総利益	487,409	397,293
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	180,966	136,459
販売促進費	598	753
支払手数料	106,137	91,259
役員報酬	15,421	22,682
給料及び手当	59,569	60,320
地代家賃	7,940	8,145
貸倒引当金繰入額	3,211	2,465
その他	53,657	55,365
販売費及び一般管理費合計	427,502	377,452
営業利益	59,906	19,840
営業外収益		
受取利息	2,505	2,346
為替差益	—	2,211
貸倒引当金戻入額	—	11,796
その他	361	175
営業外収益合計	2,866	16,529
営業外費用		
支払利息	8,988	8,174
その他	1,567	907
営業外費用合計	10,556	9,081
経常利益	52,216	27,288
特別利益		
投資有価証券売却益	—	738
偶発損失引当金戻入額	18,419	—
貸倒引当金戻入額	73,656	—
その他	3,974	—
特別利益合計	96,050	738
特別損失		
固定資産除却損	—	338
偶発損失引当金繰入額	17,215	—
業務委託契約解約損	5,000	—
訴訟関連損失	11,408	—
貸倒引当金繰入額	6,756	—
特別損失合計	40,379	338

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	107,888	27,687
法人税、住民税及び事業税	848	1,145
法人税等合計	848	1,145
少数株主損益調整前四半期純利益	107,040	26,542
少数株主損失(△)	△8,905	—
四半期純利益	115,945	26,542

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	107,040	26,542
四半期包括利益	107,040	26,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,945	26,542
少数株主に係る四半期包括利益	△8,905	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注意事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。